

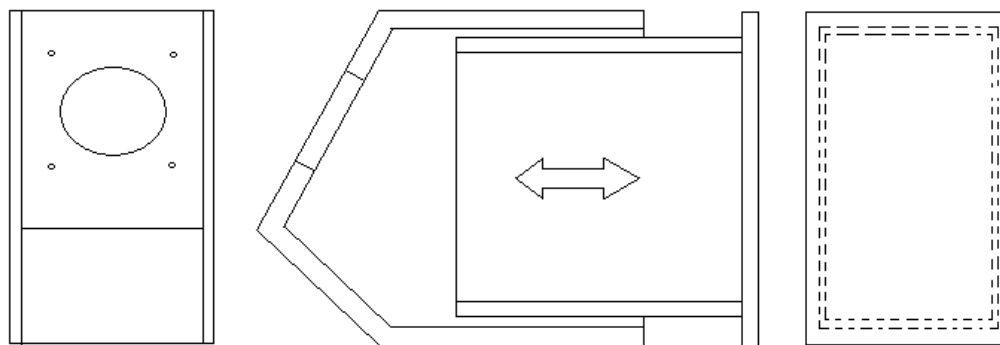
## □ エンクロージャー テレスコ 4 号機

昨年度オフ会発表のテレスコ 3 号機に次ぐ 4 号機です

テレスコの基本的な概念、特徴はプロトタイプ、2～3 号機と同様で

1. 2 重構造による容積可変
2. 4 面スリットバスレフによる低音域再生能力増強

4 号機は外箱を既製の収納家具を利用するので、正面バッフルは正方形ではなく、角度の付いた変則な取り付けとし、3 号機までの上下左右対称構造を踏襲していません



内箱の前後移動で容積を可変し、ユニットの大きさ、空気室容積駆動能力に応じて調整します  
外箱の容積は約 13 L、内箱は 9 L で、2 号機、3 号機よりもずっと小さいです スリットの間隙は 3 mm です(過去の作品はすべて 4mm でした)

容積可変と同時にスリットの長さも逆に増減します スリットバスレフの共振点はほとんど変化しません

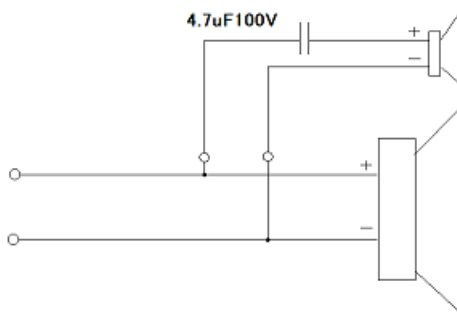
スリットは 1 本より細くなるのでピーク形状はブロードになり広範囲な低音域増強になります  
またシングルバスレフで起こりがちな谷の発生がほとんどありません

4 面スリットは後方を向くので設置環境で低音再生を背面壁、床反射を利用し演奏会場の低音楽器に近い空間放出をします 内箱を底面に立てることも可能なので時間あれば試します

今回の 4 号機もフロントサブバッフル式とし、バッフルごとユニット交換可能にしています

## □ ジャンクウーハー使用の 2 Way バッフル

12cm ジャンク品のフルレンジウーハーをネットワーク無しでアンプ出力ダイレクトで使います  
ソフトドームツイーターはジャンク品の Kenwood カーオーディオ用コアキシャルからの外し物で  
4.7 $\mu$ F 100V 両極 C でハイパスしています



□リファレンスに音友 Mook 付録ユニット、オンキヨー OM-OF101 も鳴らしたいと思います

ブログ「おおたんの自作オーディオ・カイト・SVX」に構想・制作過程の詳細記事あります  
鈴木会長・加藤さん・石田さんのブログからリンクあります

以上